



学校だより

神橋



平成27年 8月27日
横浜市立神橋小学校
8・9月号

夏休みの実り

主幹教諭 菊池 教子

37日間の夏休みが終わり、学校に子どもたちの歓声が帰ってきました。今年の夏は各地で連続猛暑の記録を更新し、「酷暑」「炎暑」などの言葉がぴったりの日が続きました。また、大雨による災害や竜巻での家屋倒壊の被害、サメの出現による遊泳禁止など、自然の驚異を感じた夏でもありました。神橋小学校では、暑い中、エレベーター設置工事やキッズクラブ開設に伴う設備工事、プールの配管工事など、多くの工事が行われました。

さて、そんな猛暑の中7月26日（日）神橋小学校の校庭で六角橋地区主催の納涼祭が行われました。高温注意情報も発令された暑い中、3時を過ぎると地域の方が集まり「暑いですね」と声をかけあいながらも、テントを広げたり、商品を運んだりと着々と出店準備が始まりました。神橋小学校を卒業した子どもたちも、ボランティアとして参加し一生懸命仕事を手伝う姿が見られ、頼もしく思いました。わたしも神橋小に赴任して1年3か月、昨年1年間、地域の納涼祭をはじめ、杉山神社のお祭り・六角橋連合健民体育祭・ふれあい広場・杉山神社豆まきなど数多くの地域行事に参加をしてきました。その数の多さにも驚かされましたが、その中での活動を楽しむ子どもたちの姿に、地域の力の強さを感じました。



子どもたちは、地域や家庭での人との触れ合いや経験を通して、心も体も大きく成長します。37日間の今年の夏休み、子どもたちはどんな経験をしたのでしょうか。がんばったことや楽しかったこと、大変だったこともあるかもしれません。でも、その経験は子どもたちのプラスになることを信じています。夏休みの実りを、さらに学校生活でのステップアップにつなげていけるよう教職員みんなまで応援していきます。

